

日本環境学会 第40回研究発表会

日程表

		A会場 第1講義棟 21教室	B会場 第1講義棟 22教室	C会場 第1講義棟 23教室	D会場 第1講義棟 24教室
6月21日 (土)	9:00 ~ 12:00	一般報告 セクション4 セクション6	一般報告 セクション5 セクション8	一般報告 セクション10	
	12:00 ~ 13:00	昼食・休憩 (幹事会)			
	13:00 ~ 14:30				総会
	14:40 ~ 17:40				シンポジウムⅠ 「再生可能エネルギーと地域発展」
	18:00 ~ 20:00	懇親会 (会場: 福利厚生センター食堂)			
6月22日 (日)	9:00 ~ 12:00	一般報告 セクション1 セクション3	一般報告 セクション2	一般報告 セクション7 セクション9	
	12:00 ~ 13:00		ランチセミナー 「論文投稿促進 セミナー」		
	13:30 ~ 16:00	セミナー 「PM2.5, 危惧される健康への影響」 (14:30 まで)			シンポジウムⅡ 「環境研究の 最先端」

シンポジウムⅠ
「再生可能エネルギーと地域発展」

日時：2014年6月21日（土）14:40～17:40

会場：D会場（農学部キャンパス第1講義棟24教室）

気候変動・温暖化の悪影響最小化と、脱原子力依存の対策を進めるには、省エネ、再生可能エネルギー、燃料転換が重要である。またこれら対策が、将来の気候変動の悪影響や適応費用削減のみならず、地域から流出する光熱費を減らして地場産業に投資が回り雇用を増やすなど、従来のお金の流れを変え、地域発展に寄与し、豊かな将来をもたらすことが期待されている。

今回は再生可能エネルギー普及に焦点をあて、その可能性と、地域の経済発展への寄与について議論する。

基調報告 寺西俊一（一橋大学大学院経済学研究科・特任教授・環境経済）

「再生可能エネルギー普及と地域発展」（仮）

事例紹介とパネルディスカッション

講師調整中

シンポジウムⅡ
「環境研究の最先端」

日時：2014年6月22日（日）13:30～16:00

会場：D会場（農学部キャンパス第1講義棟24教室）

環境の科学・研究は日々、進歩している。本シンポジウムでは環境研究で世界の先端を行く東京農工大学で日々、研究活動を繰り広げている気鋭の研究者たちが、環境の科学・研究の最先端を熱く語る。

1. 金子 弥生（地域生態システム学科・准教授・野生動物保護学）
「東京でタヌキに化かされる？ - 都市へ進出する野生動物の生態と保全」
2. 木庭 啓介（環境資源科学科・准教授・地球化学）
「森林がメタボ化している!? 窒素の動きで生態系を見る」
3. 伊豆田 猛（環境資源科学科・教授・環境植物学）
「大気汚染と植物」
4. 澤 佳成（地域生態システム学科・講師・環境哲学）
「環境破壊の根本要因を探る - オルタナティブな社会の構想に向けて」（仮題）

日本環境学会 第40回研究発表会

一般報告 プログラム

第1日 [6月21日(土)]

A会場

《セクション4：土壌・水質汚染》

【9:00～9:15】 4-1 不法投棄による兵庫県内河川源流上流の細菌学的汚染状況（継続）

○北元 憲利（兵庫県立大環境人間学部）・加藤陽二（兵庫県立大環境人間学部）

【9:15～9:30】 4-2 横浜市都筑区の地下水における水質評価と経時の水質変動

○咸 泳植（東京都市大学環境情報学部）・熊谷 健人（東京都市大学環境情報学部）・田村 亮介（東京都市大学環境情報学部）

【9:30～9:45】 4-3 福島第一原発汚染水漏れ事故

畑 明郎（元大阪市立大学大学院経営学研究科）

【9:45～10:00】 4-4 リニア新幹線環境影響評価準備書の批判的解析

坂巻 幸雄（元地質調査所）

【10:00～10:15】 4-5 吸リン材浸出液が池の底泥における脱窒速度に及ぼす影響

○水内 裕太（東京農工大学農学府）・多羅尾 光徳（東京農工大学農学研究院）

《セクション6：生態系・動植物への影響》

【10:15～10:30】 6-1 塩ストレスがフダンソウにおけるグリシンベタインの挙動に及ぼす影響

○原 直人（東京農業大学応用生物科学部）・前田 良之（東京農業大学応用生物科学部）

【10:30～10:45】 6-2 NaCl処理がシーショアパラムの抗酸化酵素活性に及ぼす影響

○鈴木 翔（東京農業大学）・前田 良之（東京農業大学）

【10:45～11:00】 6-3 ネオニコチノイド系殺虫剤の人体への影響

河内 俊英（久留米大学比文研）

【11:00～11:15】 6-4 ネオニコチノイド系殺虫剤の危険性を考察する

河内 俊英（久留米大学比文研）

【11:15～11:30】 6-5 高速道路休憩施設におけるギフチョウ生息環境改善

○飯田 是昌（ギフチョウ里づくりの会）・水上 成雄（ギフチョウ里づくりの会）・早川 悦充（富山県南砺市城端行政センター）・影近 義明（富山県南砺市城端小学校）

【11:30～11:45】 6-6 絶滅危惧種コアジサシの巣材調節行動による巣内温度の変化

○櫻井 元晴（東京都市大学環境情報学研究科）・小堀 洋美（東京都市大学環境情報学研究科）・北村 亘（東京都市大学環境学部）

【11:45～12:00】 6-7 全国規模の市民による個人住宅の生き物調査のデータ解析と市民科学の有効性の検討

○小松 直哉（東京都市大学環境情報学研究科）・小堀 洋美（東京都市大学環境情報学研究科）・大谷 紀子（東京都市大学メディア情報学部）・古井 亮太（生態教育センター）・小河原 孝生（生態教育センター）

B会場

《セクション5：廃棄物・都市問題》

【9:00～9:15】 5-1 廃棄物由来の堆肥製造の役割と意義について農業の自然循環機能から考える

長屋 祐一（三重大学大学院生物資源学研究所）

【9:15～9:30】 5-2 瀬戸内海における海底ごみの影響と回収の取り組み～瀬戸内海沿岸漁協へのアンケート調査を比較して～

○塩飽 敏史（公益財団法人水島地域環境再生財団）・磯部 作（日本福祉大学）

【9:30～9:45】 5-3 海底ごみ対策の促進に向けた課題～瀬戸内海における調査研究を基に～

○磯部 作（日本福祉大学）・塩飽 敏史（公益財団法人水島地域環境再生財団）

【9:45～10:00】 5-4 花と緑のまちづくり協議会の理事の立場による意識のずれと共通性－質的及び計量的分析から－

○桜井 良（日本学術振興会／横浜国立大学）・菊池 貴大（東京都市大学）・小堀 洋美（東京都市大学）・中村 雅子（東京都市大学）

【10:00～10:15】 5-5 鹿児島市のごみ処理・リサイクルにおける問題点

八木 正（鹿児島国際大学）

【10:15～10:30】 5-6 汎用プラスチックの高品質リサイクルの可能性

中村 真悟（大阪市立大学）

【10:30～10:45】 5-7 開発途上国における廃棄物管理の段階的発展から見た環境クズネッツ仮説

吉田 充夫（独立行政法人国際協力機構）

【10:45～11:00】 5-8 滋賀県高島市の放射能汚染木くずの不法投棄事件

畑 明郎（元大阪市立大学大学院経営学研究所）

《セクション8：環境教育・環境哲学》

【11:00～11:15】 8-1 沖永良部島の小学校における湧水地をテーマとしたESDの実践研究

○萩原 豪（鹿児島大学）・元木 理寿（常磐大学コミュニティ振興学部）・野村 卓（北海道教育大学釧路校）

【11:15～11:30】 8-2 環境教育における協働の展開

○村上 紗央里（同志社大学大学院総合政策科学研究科）・新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科）

【11:30～11:45】 8-3 文明の生命システム論から見る環境問題：科学技術開発のジレンマ

川村 邦男（広島修道大学人間環境学部）

【11:45～12:00】 8-4 自然と人間との関係性

小川 潔（元東京学芸大学）

C会場

《セクション10：自由論題》

【9:00～9:15】 10-1 デジタルカメラ画像から水稲領域を効率的に抽出する試み

○伊藤 良栄（三重大学）・張 博文（三重大学）・近藤 雅秋（三重大学）・加治佐 隆光（三重大学）

【9:15～9:30】 10-2 金目川水系における「里川度」の検討

○篠宮 英介（東海大学大学院人間環境学研究所）・藤野 裕弘（東海大学大学院人間環境学研究所）・松本 晃一（NPO法人東海大学地域環境ネットワーク）

- 【9:30～9:45】 10-3 環境保全とフェアトレードを通じた持続可能な都市形成のあり方 ―倫理性に着目して
渡来 絢（川崎市環境総合研究所）
- 【9:45～10:00】 10-4 コミュニケーションの合理性の可能性 - 合理性による認識と実践の統合について -
柿沼 美穂（国立環境研究所地球環境研究センター）
- 【10:00～10:15】 10-5 持続可能な社会への取り組みとジェンダー
栗屋 かよ子（元四日市大学）
- 【10:15～10:30】 10-6 福島原発事故後に何が変化したか？原発ゼロをめざして
伊藤 章夫
- 【10:30～10:45】 10-7 清流よサケとともによみがえれ（その総括）
杉浦 公昭（元東洋大学工学部）
- 【10:45～11:00】 10-8 持続可能な社会（S.S.）の実現に必要な学問と教育についての考察
天谷 和夫
- 【11:00～11:15】 10-9 国連持続可能な開発のための教育の10年」(UNDESD)の成果としての目視式簡易大気汚染自動測定器の開発と簡易測定法に特定した準環境計量士資格制度の設定による雇用の創出
天谷 和夫
- 【11:15～11:30】 10-10 国連持続可能な開発のための教育の10年」(UNDESD)の目に見える成果としてすべての人が合意できる核兵器の廃絶を早期に実現する提案
天谷 和夫

第2日 [6月22日(日)]

A会場

《セクション1：地球環境》

- 【9:00～9:15】 1-1 2050年までを視野に入れた中長期温暖化積極対策シナリオの検討
○歌川 学（産総研）・外岡 豊（埼玉大）・平田 仁子（気候ネットワーク）

《セクション3：大気汚染》

- 【9:15～9:30】 3-1 東電福島第1原発事故3年後における、市内空气中放射線量の実態調査（第3報）
神戸 治夫（川崎から公害をなくす会）
- 【9:30～9:45】 3-2 微小粒子状物質（PM2.5）による、川崎市内における汚染の実態調査について
神戸 治夫（川崎から公害をなくす会）
- 【9:45～10:00】 3-3 横浜市における大気沈着物の負荷量と汚染源の評価
○咸 泳植（東京都市大学環境情報学部）・清水 賢一（東京都市大学環境情報学部）・横山 豊（東京都市大学環境情報学部）
- 【10:00～10:15】 3-4 廃プラ処理施設周辺住宅地におけるホルムアルデヒド濃度の測定
○長野 晃（大阪公害環境測定研究会・いのちと環境ネットワーク）・北田嘉信（廃プラ処理による公害から健康と環境を守る会）
- 【10:15～10:30】 3-5 中国の大気汚染をめぐる地域間格差と構造的課題－北京市・天津市・河北省を事例に
知足 章宏（京都大学アジア教育研究ユニット）

- 【10:30～10:45】 3-6 モンゴル・ウランバートル市の大気汚染シミュレーション（第3報）
 ○武本 行正（四日市大学環境情報学部）・高橋 正昭（四日市大学環境情報学部）・竹内 佐智恵（三重大学医学部看護科）・粟屋 かよ子（四日市大学環境情報学部非常勤講師）
- 【10:45～11:00】 3-7 モンゴルウランバートルにおける思春期男女の呼吸器関連症状とウランバートルへの転入時期の関連性
 ○竹内 佐智恵（三重大学）・伊藤 薫（四日市看護医療大学）・草川 好子（四日市看護医療大学）・田村 麻紀（公益財団法人国際環境技術移転センター）・萩野 敏（元大阪大学）
- 【11:00～11:15】 3-8 メルボルンにおけるSPMの調査報告
 ○中山 榮子（昭和女子大学大学院）・神戸 順子（江戸川大学）・長島 雲兵（産業技術総合研究所）・青山 智夫（産業技術総合研究所）
- 【11:15～11:30】 3-9 都市域の私有地を対象とした地域連携による新たな緑のコミュニティづくりの試みと統合的アプローチによる現状評価
 ○小堀 洋美（東京都市大学環境情報学研究科）・桜井 良（日本学術振興会／横浜国立大学）・北村 亘（東京都市大学環境学部）
- 【11:30～11:45】 3-10 天谷式NO₂1ヵ月測定簡易カプセルとその検証
 ○鈴木 一義（市川の空気を調べる会）・伊藤 章夫（千葉おおぞら連絡会）・粟屋 かよ子（元四日市大学）・天谷 和夫（元群馬大学）
- 【11:45～12:00】 7-8 自然が育む河川流域の持続可能な暮らし～奈良県吉野川流域を事例として～
 ○蒲生 孝治（京都女子大学）・福西 安理沙（京都女子大学）
- 【12:00～12:15】 3-11 高速道路沿道高層住宅での簡易ダスト計によるPM2.5等の調査
 後藤 隆雄（公害環境測定研究会）

B会場

《セクション2：エネルギー》

- 【9:00～9:15】 2-1 原発再稼働の成否を左右する意識要因
 ハッ橋 武明（前文教大学情報学部）
- 【9:15～9:30】 2-2 新潟県内の家庭由来二酸化炭素の排出削減可能量のアンケートにもとづく検討
 ○岩城 文太（新潟県保健環境科学研究所）・石山 豊（新潟県保健環境科学研究所）・山下 研（新潟県保健環境科学研究所）
- 【9:30～9:45】 2-3 島根県エネルギー自立地域推進基本条例の制定運動の意義と課題
 上園 昌武（島根大学）
- 【9:45～10:00】 2-4 地域におけるエネルギー自立の課題と可能性－東広島市を例にして（1）－
 佐藤 高晴（広島大学総合科学研究科）・西野 雄太（広島大学総合科学部）
- 【10:00～10:15】 2-5 地域づくり活動活性化の観点から見た地方自治体による再生可能エネルギー普及政策の現状と課題
 ○平岡 俊一（北海道教育大学釧路校）・豊田 陽介（NPO 法人気候ネットワーク）・的場 信敬（龍谷大学政策学部）・井上 芳恵（龍谷大学政策学部）
- 【10:15～10:30】 2-6 地域づくり型再生可能エネルギー政策の形成過程の比較・分析
 ○豊田 陽介（NPO 法人気候ネットワーク）・平岡 俊一（北海道教育大学釧路校）・的場 信敬（龍谷大学政策学部）・井上 芳恵（龍谷大学政策学部）

- 【10:30～10:45】 2-7 地域づくり型再生可能エネルギー政策における「ガバナンス」概念の検討
○的場 信敬（龍谷大学政策学部）・平岡 俊一（北海道教育大学釧路校）・豊田 陽介（NPO 法人気候ネットワーク）・井上 芳恵（龍谷大学政策学部）
- 【10:45～11:00】 2-8 ドイツにおける風力・太陽光発電の優先給電に基づく需給運用
竹濱 朝美（立命館大学産業社会学部）
- 【11:00～11:15】 2-9 電力買取制度（FIT）下での再生可能エネルギー普及の現状と課題
和田 武（元立命館大学）
- 【11:15～11:30】 2-10 インドのソーラー計画（JNNSM）の進展とその社会的影響について
和田 幸子（元神戸市外国語大学）
- 【11:30～11:45】 2-11 ニュージーランドの地熱エネルギー利用における多面的機能
阿部 博光（別府大学国際経営学部）
- 【11:45～12:00】 2-12 再生可能エネルギーの導入にかんする波及効果の分析
氏川 恵次（横浜国立大学国際社会科学研究院）

C 会場

《セクション7：環境経済学・環境政策》

- 【9:00～9:15】 7-1 圃場整備の環境配慮をめぐる三重県の事例から見えること
高山 進（三重大学生物資源学研究所）
- 【9:15～9:30】 7-2 持続可能な発展の地域ガバナンスにおける日本の対応
横田 匡紀（東京理科大学）
- 【9:30～9:45】 7-3 中国における環境法政策の執行とガバナンス
北川 秀樹（龍谷大学政策学部）
- 【9:45～10:00】 7-4 中国における水費徴収制度及び水費改革－西北部を中心に
寇 鑫（龍谷大学政策学研究所）
- 【10:00～10:15】 7-5 アメリカにおけるブラウンフィールド再開発施策とコミュニティ開発施策の統合
安田 圭奈江（大阪市立大学大学院経営学研究所附属先端研究教育センター）
- 【10:15～10:30】 7-6 南太平洋のキリバス共和国における気候変動への適応策と発展途上国のための「気候基金」の国際動向
佐藤 輝（フェリス女学院大学国際交流学部）
- 【10:30～10:45】 7-7 「原子力安全目標」の検討経緯とリスクレベルに関する考察—環境基本法に基づく「環境基準」を視野に—
小野塚 春吉

《セクション9：震災・災害関連》

- 【10:45～11:00】 9-2 事故から3年の福島県内の除染現状
権上かおる（酸性雨調査研究会）
- 【11:00～11:15】 9-3 除染の資金メカニズム～会計調査院報告書「東日本大震災に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境汚染に対する除染について」を読む～
佐藤 克春（神奈川大学非常勤講師）

- 【11:15～11:30】 9-4 低線量地域の住宅除染法 - 過酸化水素洗浄 + モミガラ浄化法 -
高橋 正則 (庄建技術株式会社)
- 【11:30～11:45】 9-5 原発事故後の先天性奇形発生データ解析: 最適なサンプリングと解析方法
村瀬 香 (名古屋市立大学大学院)
- 【11:45～12:00】 9-6 遅れる一方の除染と中間貯蔵施設 ～帰還か移住かで揺れる被災者～
横山 裕道 (淑徳大学)

セミナー「PM2.5, 危惧される健康への影響」

元国立環境研究所で大気の影響評価の研究をし、青森県立保健大学では健康科学研究研修センター長として大気汚染と健康への影響の研究をされてきた嵯峨井勝氏(現・つくば健康生活研究所代表)に、近著『PM2.5, 危惧される健康への影響』に基づいて、PM2.5を中心とした大気汚染と健康の地球規模における緊急課題について総合的なレクチャーをお願いする。氏は大気汚染と健康影響の両方を語る貴重な研究者である。

日時: 6月22日(日) 13:00～14:00

会場: A 会場

コンピーナー: 伊藤章夫(元千葉県環境研究センター)・鈴木一義(元千葉県血清研究所)・粟屋かよ子(元四日市大学)

ランチセミナー「論文投稿促進セミナー」

本学会誌『人間と環境』の原著論文と研究ノート(査読付きの報文)などへの投稿をさらに促進することを目的に、特に若手研究者やこれから投稿を考えている大学院生を対象にして、理系・文系の両分野における執筆・研究のコツを解説する。また、編集委員会からは投稿上の注意すべき点を述べる。質疑応答の時間も設ける。

日時: 6月22日(日) 12:00～13:00

会場: B 会場

演者: 佐藤 輝(フェリス女学院大学)・浅見輝男(元茨城大学)・関 耕平(島根大学)

一般講演者 索引

【あ】

青山 智夫	3-8
阿部 博光	2-11
天谷 和夫	3-10 10-8 10-9 10-10
粟屋 かよ子	3-6 3-10 10-5
飯田 是昌	6-5
石山 豊	2-2
磯部 作	5-2 5-3
伊藤 章夫	3-10 10-6
伊藤 薫	3-7
伊藤 良栄	10-1
井上 芳恵	2-5 2-6 2-7
岩城 文太	2-2
上園 昌武	2-3
氏川 恵次	2-12
歌川 学	1-1
大谷 紀子	6-7
小川 潔	8-4
小河原 孝生	6-7
萩野 敏	3-7
小野塚 春吉	7-7

【か】

柿沼 美穂	10-4
影近 義明	6-5
加治佐 隆光	10-1
加藤 陽二	4-1
蒲生 孝治	7-8
河内 俊英	6-3 6-4
川村 邦男	8-3
神戸 順子	3-8
神戸 治夫	3-1 3-2
菊池 貴大	5-4
北川 秀樹	7-3
北田 嘉信	3-4
北村 亘	3-9 6-6
北元 憲利	4-1
草川 好子	3-7
熊谷 健人	4-2
寇 鑫	7-4
後藤 隆雄	3-11
小堀 洋美	3-9 5-4 6-6 6-7
小松 直哉	6-7

権上 かおる	9-2
近藤 雅秋	10-1

【さ】

坂卷 幸雄	4-4
櫻井 元晴	6-6
桜井 良	3-9 5-4
佐藤 輝	7-6
佐藤 克春	9-3
佐藤 高晴	2-4
篠宮 英介	10-2
清水 賢一	3-3
塩飽 敏史	5-2 5-3
新川 達郎	8-2
杉浦 公昭	10-7
鈴木 一義	3-10
鈴木 翔	6-2
外岡 豊	1-1

【た】

高橋 正昭	3-6
高橋 正則	9-4
高山 進	7-1
竹内 佐智恵	3-6 3-7
竹濱 朝美	2-8
武本 行正	3-6
田村 麻紀	3-7
田村 亮介	4-2
多羅尾 光徳	4-5
知足 章宏	3-5
張 博文	10-1
豊田 陽介	2-5 2-6 2-7

【な】

長島 雲兵	3-8
長野 晃	3-4
中村 真悟	5-6
中村 雅子	5-4
長屋 祐一	5-1
中山 榮子	3-8
西野 雄太	2-4
野村 卓	8-1

【は】

萩原 豪	8-1
畑 明郎	4-3 5-8
咸 泳植	3-3 4-2
早川 悦充	6-5
原 直人	6-1
平岡 俊一	2-5 2-6 2-7
平田 仁子	1-1
福西 安理沙	7-8
藤野 裕弘	10-2
古井 亮太	6-7

【ま】

前田 良之	6-1 6-2
松本 晃一	10-2
的場 信敬	2-5 2-6 2-7
水内 裕太	4-5
水上 成雄	6-5

村上 紗央里	8-2
村瀬 香	9-5
元木 理寿	8-1

【や】

八木 正	5-5
安田 圭奈江	7-5
八ツ橋 武明	2-1
山下 研	2-2
横田 匡紀	7-2
横山 裕道	9-6
横山 豊	3-3
吉田 充夫	5-7

【わ】

和田 幸子	2-10
和田 武	2-9
渡耒 絢	10-3

